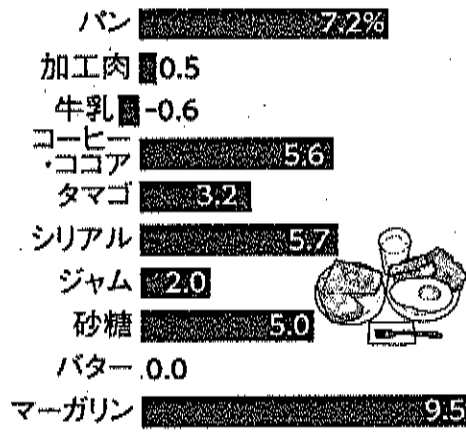


3/26 五曜

総務省「消費者物価指数」から第
一生命経済研究所が作成。品目は上
から構成比率の高い順に並べた



朝食物価指数を構成する10品目と
前年同月比増減(2月)

朝の食卓価格高騰直撃

商品、サービスの価
格が上昇し、朝の食卓
を直撃しています。総
務省「消費者物価指数」

で前年同月と比べた今
年2月の価格上昇は、
パン11.7・2%、ジャ
ム11.2・0%、マーガ
リン10.9・5%、など
でした。民間シンクタ
ンの第一生命経済研

究所が朝食関連食品価
格の家計への影響を試算
しました。

同研究所のレポート
は、朝食に関連する10
品目(パン、加工肉、
牛乳、コーヒ・ココ
ア、タマゴ、シリアル、

ジャム、砂糖、バター、
マーガリン)で合成価
格指数「朝食価格指数」
を作成。朝食価格指数
の上昇率は今年2月に
前年同月比3.8%と
なりました。

一方、総務省「家計

← 1年でこんなにアップ

調査によると、朝食
関連の10品目は食料費
の約1割を占めます。
この朝食費が年間3.8%
のペースで推移す
ると仮定すると、22年
中の支出増加額は1世
帯平均で3600円と
なります。

ただ、2月は、ロシ
アのウクライナ侵略が
開始された初期段階

です。レポートは「3
月以降の輸入物価は、
その影響を織り込ん
で、一段と高騰するこ
とになる」と指摘しま
す。

レポートをまとめた
同研究所首席エコノミ
ストの熊野英生氏は、
「消費者が物価に対し
て感じる『痛み』は、
こうした主食コストの
上昇によって、さらに
強まると考えられる」と
危惧しています。

パン 7.2%

ジャム 2.0%

マーガリン 9.5%